



御本社 本殿大屋根修理

二年前の平成廿九年台風廿一号による大雨、さらに昨年の大阪北部地震、さらに関西各地に甚大な被害をもたらした平成三十年台風廿一号の風害により、大変傷んでおりました、当宮御本社の本殿大屋根の補修工事に先月末から入りました。

補修工事に入ると、その都度別の災害が相次ぎ、中々工事に入る時機を得られませんでした、令和の御即位大礼を屋根シートを掛けたままの状態でお迎えするには忍び得ず、この度、老朽化の進んでいた本殿前外灯を含めて、無理を押ししての補修工事と相成りました。

現在、銅板価格は上昇の一途で、さらにこうした社寺屋根の銅板工事を出来る職人の減少などにより、全面葺き替えとなると膨大な費用が必要となる為、今回は部分修理に留める予定となっておりますが、この部分修理においても当宮単独では費用の全額を負担する事は厳しく、今後、社頭において御奉賛をお願いして参る予定でございます。

氏子数が大変少ない当宮では、これまで氏子崇敬者の方々にご負担をお掛けする事は避けて参りましたが、今後の持続的な神社の維持運営上、ぜひお心あられる皆様には赤誠の御奉賛をお願い申し上げる次第です。



ワシントン大学 当宮来訪

過ぐる八月十九日。アメリカ合衆国ワシントン州シアトルにあるワシントン大学の学生諸士が、現在、うめきた二期などの再開発が進む梅田の状況視察を主題に、関西各地を回られる中、梅田の歴史を伝える場としてぜひお参りしたいとの事で、当宮御本社に参られました。

ワシントン大学は、世界大学ランキングで東京大学よりも常に二十位ほどの位置にあり、世界でも有数の大学の一つで、その大学の方々も昨今の梅田は注目に値する場所となっているようです。そんな梅田の街を古代から見守ってきた当宮の大切さを、遠くアメリカの方が知っておられたという事に驚くとともに、米国学生の知見の深さを見た思いでした。



秩父宮殿下と花園ラグビー場

今月廿日から、十一月二日にかけて、ラグビーワールドカップが日本で開催されます。ここ大阪は高校ラグビーの甲子園ともされる花園ラグビー場がある事から、東大阪を中心に盛り上がりを見せています。

そのラグビーが日本で行われるようになったのは明治七年(一八七四)、横浜のイギリス人居留区での試合が最初とされ、その後、徐々に普及が図られてきました。昭和天皇の弟宮であられる秩父宮雍仁親王殿下の情熱が普及の最大の要因といわれています。

秩父宮殿下は「スポーツの宮様」と呼ばれるほど、各種のスポーツに長けておられ、中でもとりわけラグビーへの情熱は熱く「闘球」の和名を定められ、戦前戦後を通して普及に尽力されました。

特に次代を担う高校ラグビーには思いが強く、昭和三年(一九二八)十月に、橿原神宮参拝の途次、花園あたりの遠景をご覧になられて、ラグビー場の好地と見定められ、還路の際にも更に念押しされるなど、その並々ならぬ思いに、当時の大阪電気軌道(現在の近鉄)も期待に応えるべく急遽整備に乗り出し、翌昭和四年に、日本初のラグビー専用競技場「花園ラグビー場」が完成しました。以後、日本のラグビーの聖地とされ現在に至っています。こうした宮様の思いを受け、今大会の日本選手団の活躍に期待するばかりです。

今月の暦

【祭礼】

北野祭 遥拝式(四日)：京都北野天満宮例祭を遥拝
嵯峨天皇御降誕祭(七日)：嵯峨天皇さまの誕生当日

【節句】

重陽の節句(九日)：五節句の一つ。長寿祈念。

【節気】

白露(八日)：大気が冷え始め、降りた露が白く光る頃
秋分(廿三日)：昼夜等分の候。秋風が訪れる頃

【雑節】

二十十日(一日)：立春から二十十日。台風特異日
秋の彼岸(九月二十日)九月二十五日) お墓参り
秋の社日(二十八日)：産土神を詣でる。ポケ封じ
中秋の名月(十三日)：秋のお月見

【大安】

九月二日、八日、十四日、廿日、廿六日

【祝日】

敬老の日(十六日) 秋分の日(廿三日)

【旬】

【野菜】 秋ナス、蓮根、日本南瓜、里芋、ずいき
【果物】 柿、梨、葡萄、ザクロ
【魚介類】 秋刀魚、カレイ、カタクチイワシ
【その他】

長月の名の通り、日に日に夜が長くなり、明月の夜には秋の七草が風情を添えます。また暑さ寒さも彼岸までの言葉通り、秋風が吹くようになり、気候も体調も変動の季節です。

網敷天神社 SNS、地図サイト

